

富津市社会教育委員会議会議録

1	会議の名称	平成29年度第2回富津市社会教育委員会議
2	開催日時	平成30年3月19日 午後2時00分～午後4時10分
3	開催場所	富津市役所502会議室
4	審議等事項	報告 (1) 第52回君津地方社会教育推進大会について (2) 富津市民文化祭2017について (3) 第52回千葉県社会教育振興大会について (4) 平成30年富津市成人式について (5) 平成29年度君津地方社会教育委員連絡協議会研修会について (6) その他 議題 (1) 富津市子どもの読書活動推進計画について (2) 富津市生涯学習推進計画について
5	出席者名	(委員) 高橋委員長、杉田副委員長、川名賢委員、加藤委員、宮内委員、小泉委員、川名健一委員、玉川委員、大野委員、磯貝委員、石井委員 (事務局) 岡根教育長、能城教育部長、岩名生涯学習課長、渡邊公民館長、伊藤課長補佐、市川社会教育指導員、川名社会教育指導員、森田社会教育指導員、仲野家庭教育指導員、平野社会教育主事
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0 人 (定員 5 人)
9	所管課	教育部 生涯学習課 社会教育係 電話 80-1345
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

第 2 回 富津市社会教育委員会議会議録

発言者	発言内容
<p>(事務局) 岩名課長</p>	<p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。本日は何かとお忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせてさせていただきます生涯学習課の岩名と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に先立ち、出欠席の報告をさせていただきます。本日の出席委員は 11 名、欠席委員は 2 名でございます。したがって、2 分の 1 以上の出席がございますので、社会教育委員会議運営規則第 3 条第 5 項の規定により、会議は成立いたします。</p> <p>ここで、会議の公開について、ご説明させていただきます。本会議は、富津市情報公開条例第 23 条第 1 項の規定により公開となります。このため、後ほど会議録署名人 2 名を決めていただきたいと思います。また、会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、ただ今から平成 29 年度第 2 回社会教育委員会議を始めさせていただきます。はじめに、高橋委員長からご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>(委員長あいさつ)</p>
<p>(事務局) 岩名課長</p>	<p>ありがとうございました。続きまして岡根教育長からご挨拶を申し上げます。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>(教育長あいさつ)</p>
<p>(事務局) 岩名課長</p>	<p>ありがとうございました。これより議事の進行につきましては、社会教育委員会議運営規則第 3 条第 4 項の規定により、高</p>

	<p>橋委員長により進めていただきたいと思いますので、よろしく お願いいたします。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>それではまず、会議次第の3「議事録署名人の指名」につい てですが、私から指名することで、よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご異議もないようですので、石井喜美子委員と宮内和男委員 でよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご異議もないようですので、石井喜美子委員と宮内和男委員 に決定いたします。それでは、報告に入ります。</p> <p>各事業に参加した委員の皆さんから参加報告をお願いいたし ます。はじめに、報告(1)第52回君津地方社会教育推進大 会について、磯貝委員から報告願います。</p>
<p>磯貝委員</p>	<p>それでは、君津地方社会教育推進大会について報告いたしま す。7月8日土曜日、第52回君津地方社会教育推進大会が君 津市民文化ホールの中ホールにて開催されました。昨年度に引 き続き今年度も、君津市が中心となり計画され、364名の参 加で盛大に開催されました。富津市からは社会教育委員8名が 参加したほか、社会教育指導員・家庭教育指導員及び生涯学習 課・中央公民館職員の9名を含む69名が参加しました。</p> <p>表彰状の贈呈では、富津市からは、個人の部で社会教育委員 の杉田玲子さんと森千枝子さんの2名が社会教育振興への功績 を認められ表彰されました。おめでとうございます。また、 本大会を共催している新日鐵住金株式会社君津製鐵所が社会貢</p>

献賞として制定する、クローバー賞の表彰が、5団体に対して行われ、富津市からは、老人介護施設や保育所、小学校で本の読み聞かせを行う「おはなしの会ぬくだまり」が受賞しました。

式典終了後の記念講演では、一般財団法人地域活性化センターの小嶋敦夫氏を講師に招いて、「今、ジモトを楽しもう！～これからの地域を輝かせるのは、アナタかもしれない～」と題した講演が行われました。地域活性化センターは、全国各地の地方創生に向けた取組への支援拠点として、全国の地方公共団体と企業により、昭和60年に設立された財団です。小嶋さんは、ご自身の地元、静岡県三島市で「地域の未来をつくる人をつくる」を使命とした「みしまびとプロジェクト」を先導したおひとりです。まちづくりの手段としての映画づくりを本気でするために、制作自体はプロに任せ、資金集め・仲間集め・物の調達・ロケ地調整などはボランティア集団である「みしまびと」が全責任をもって頑張るという体制で、0歳から70歳までの延べ1万人が参加して実施されました。3年の歳月を費やして完成した映画『惑う After the Rain』は、韓国・カナダ・ヴェトナムなどの国際映画祭に出品され、ついにアメリカの世界多文化映画祭でグランプリを受賞しました。その後、2016年11月から全国各地でロードショーを実施。17年春以降は地域上映会を実施しているということでした。

みしまびとの映画づくりのように壮大なプロジェクトの実施はなかなか難しいと思いますが、「参加」に苦勞の「く」を加えると「参画」になることに触れ、「苦」を楽しんで、当事者意識を持つことが大事ですとか、「シティープロモーションとは地域に真剣になるヒトを増やすこと」などといった大変有意義な講演でした。

記念講演終了後、大会決議文が参加者全員賛成のもとに採択され、閉会となりました。平成30・31年度は、富津市が開催市となりますので、私たち社会教育委員も協力していかない

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>といけません。 以上で報告を終わります。</p> <p>磯貝委員からの報告は終わりました。委員の皆さんから、ご質問などございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご質問などはないようですので、次の報告(2) 富津市民文化祭2017については公民館事業となるため、渡邊公民館長から報告をお願いします。</p>
<p>(事務局) 渡邊 公民館長</p>	<p>富津市民文化祭2017は、11月2日木曜日から5日日曜日までの4日間、総合社会体育館・富津公民館・中央公民館・市民会館の4会場で開催されました。市民文化祭のポスターにつきましては、市内小中学校から95点の応募があり、その中から天羽東中学校1年の牛久保俊輔さんの作品が優秀作品としてポスターに採用されました。また、メインテーマは、市内中学校および一般から228点の応募があり、その中から優秀作品として、天羽中学校3年の山田翔也さんの「行ってみよう みんなで楽しむ 文化祭」が採用されました。</p> <p>文化祭全体の出演・出展者数は3,282人、展示部門作品数は2,880点、芸能部門・催し部門の曲数は198曲、子どもまつり部門の35種目で、日ごろの活動成果による作品または芸能発表などが活発に行われました。全体の参観者数は、18,274人で昨年度より160人増加しております。</p> <p>また、期間中に各会場においてアンケートを実施し、総合社会体育館では144件の回答がありました。アンケートによりますと、市内の方が80%、市外が20%で、どの作品も素晴らしい、心がほっこりするなどの意見をいただきました。展示</p>

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>に対する高い評価が目立ちましたが、その一方で作品数の減少の指摘や、継続を求める声も多くみられました。</p> <p>最後に、来年度の文化祭期間は、3日間となります。</p> <p>以上で、富津市民文化祭2017についての報告を終わります。</p> <p>渡邊公民館長からの報告は終わりました。委員の皆さんから、ご質問などございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご質問などはないようですので、次の報告である第52回千葉県社会教育振興大会について杉田副委員長から報告をお願いします。</p>
<p>杉田 副委員長</p>	<p>第52回千葉県社会教育振興大会が、11月9日木曜日柏市のさわやかちば県民プラザで開催されました。富津市は社会教育委員から高橋委員長、川名健一委員と私、事務局から伊藤課長補佐と平野社会教育主事のあわせて5名が参加しました。</p> <p>「未来を築く 人づくり・まちづくり」をテーマに、午前中は表彰式などの開会行事に続いて、3市の事例発表が行われ、午後は全国社会教育委員連合の前会長の大橋教授による基調講演のあと、3つの分科会での語り合いの時間が持たれ、最後に大会決議文を採択して閉会、という盛りだくさんの内容でした。</p> <p>まず表彰式では、袖ヶ浦市の田中副委員長が表彰されました。続いて、事例発表では、君津地区を代表して当市生涯学習課の伊藤課長補佐が、「富津市金谷『石のまち』の地域再生」と題して発表しました。日本武尊と弟橘媛の伝説による4市の紹介にはじまり、吾妻神社の祭礼、内裏塚古墳の石室や復元された階段の石材を紹介しながら房州石の主産地である鋸山につなげ、</p>

『石と芸術のまち金谷』をかかげて町の活性化を図る金谷ストーンコミュニティの活動を紹介するという構成で会場を盛り上げました。15分という短い時間のために後半は駆け足になりましたが、昼食時や分科会でも「富津に行きたくなった」という声が聞かれるなど、君津地方と富津市をPRするという発表者の本当の目的は達せられたようでした。

2番目の市原市の発表では、家庭教育支援をテーマにした取組が紹介されました。公民館教室でのヒアリング調査をもとに幼稚園児と小学2年生の保護者を対象としたアンケート調査を行い、その集計結果をまとめリーフレットの発行、その内容を検証して作成した教育委員会への提言書の提出。提言内容を具現化させるために公民館視察を行ったり、小委員会での検討をへて実施した家庭教育支援シンポジウムの開催などすべての教育の出発点である家庭教育を柱にした活動に、動く社会教育委員のひとつの典型を見た思いがしました。

3番目の、千葉市の発表では、千葉市内全111校のうち10校のモデル校で実施している「放課後子ども教室・子どもルーム一体型モデル事業」についての紹介がありました。平日の放課後、全小学校で週1回程度実施されている従来の「放課後子ども教室」では、多様な体験活動ができるものの、運営するボランティアの人材確保やプログラムの計画の困難さなどが課題とのことでした。そこで平成28年度から、総合コーディネーターを配置して、多種多様なプログラムを提供できるようにしました。だが、生活の場である「子どもルーム」は共働き家庭の児童に限られていたので、29年度から、それらの一体的運営をはじめましたとのことでした。一体的に運営することで、全ての児童と一緒に活動でき、生活の場であるとともに多様な体験ができることになりました。活動内容としては、月曜は運動、火曜は学習、水曜はスポーツ教室、木曜はものづくり、金曜は交流活動と有料と無料のものはありますが、一体型のメリ

ットとして、さらに運営負担の解消が挙げられました。どうい  
うことかという、ノウハウを持った事業者に運営を委託した  
とのことでした。千葉市の中でも今のところ1割弱の小学校の  
みでの実施で、評価が得られれば全ての学校でということにな  
るのでしょうか、かなりの予算が必要なのではという印象でし  
た。

基調講演では、東北福祉大学大学院教授で全国社会教育委員  
連合の前会長である大橋謙策氏による「地域創生と社会教育委  
員の役割」と題するお話がありました。「限界集落」、少子・高  
齢化、単身生活者時代における生活課題と地域づくり、グロー  
バルな視点に基づく教育の再生、「自己充足型生涯学習」推進の  
社会教育行政から「住民参画・地域還元型」推進の社会教育行  
政への回帰といった方向性が示され、その実践として、地域づ  
くりの拠点としての公民館や社会教育行政の役割と社会教育委  
員の位置が語られるなど、時間が1時間しかないので急いでと  
おっしゃる大橋教授のお話は社会教育研究者としての面や社会  
教育委員としての体験談にいたるまで豊富な内容でした。最後  
の「社会教育委員制度は必要か？」というまとめの部分では、  
住民と教育行政とのパイプの役割を担えているか、市町村社会  
教育に関する計画を諮問がなくても策定するかといったドキッ  
とするような問いかけが列挙され、文字通り「社会教育委員の位  
置と役割」を再認識させられる思いでした。

分科会は、「地域づくりと社会教育」、「子供の幸せと社会教  
育」、「社会教育委員の役割」の3つのテーマに分かれて行われ、  
私は第2分科会の「子供の幸せと社会教育」に参加しました。  
私の参加したグループでは、我孫子市の放課後子ども教室・地  
域交流教室の話をお聴いて富津市でもできたらいいなと思いま  
したが、香取市で青少年相談員と子ども会が共同でスキーやカヌ  
ー、プラネタリウム、航空見学会など年間5回もバスを使って  
事業を実施しているということがとても印象に残りました。



	<p>今回の会場は遠かったため、移動手段として君津地区事務局の木更津市さんが市のバスを手配してくださいましたが、車中でも4市の方々と意見交換ができるなど、貴重な研修となりました。また、伊藤課長補佐の事例報告をじっくり聞きたいという意見もでておりました。</p> <p>以上で、千葉県社会教育振興大会の報告を終わります。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>杉田副委員長からの報告は終わりました。付け加えますと、アンケートでも石のまち金谷に行ってみたいなど好意的な意見が寄せられていました。一昨年の全国大会で君津地区が担当した語り合いの方式が引き継がれているものでした。</p> <p>委員の皆さんから、ご質問などございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご質問などはないようですので、次の報告に移ります。(4)平成30年成人式についても、公民館事業ですので、渡邊公民館長から報告をお願いします。</p>
<p>渡邊 公民館長</p>	<p>平成30年成人式は、1月7日日曜日午後2時から富津公民館において開催されました。当日は社会教育委員の皆様にも、新成人の門出をお祝いしていただき誠にありがとうございました。</p> <p>新成人の対象者は市内居住者及び市外転出者484名で出席者360名、出席率は74.38%でした。今年度は、市内各中学校5校から選出した12名が成人式実行委員会を立ち上げ、実行委員が式典の企画運営を行いました。実行委員会では、式典内容や記念行事について、何度も会議を重ね、思い出のスライドショーや二十歳への手紙の披露、全員による合唱、新成人エールなどの工夫をこらした式典となりました。こうして例</p>

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>年にないほど厳粛な中にも温かみのある式典でありました。        以上で、平成30年成人式についての報告を終わります。</p> <p>渡邊公民館長からの報告は終わりました。委員の皆さんから、ご質問などございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ご質問などはないようですので、次の報告に移ります。(5)        君津地方社会教育委員連絡協議会研修会については、私からご報告させていただきます。</p> <p>昨年度の4市の移動研修に引き続き、当番市である富津市が企画して、2月7日水曜日に富津公民館多目的室で実施しました。「連携・協働による未来志向の社会教育のあり方を考える」をテーマに、君津地方公民館運営審議会委員連協との初めての合同実施となった研修会は、総勢72名が参加する大規模なものになりました。当市からの参加者は、社会教育委員8名を含む22名でした。</p> <p>平成30年度に関東甲信越静社会教育研究大会が開催される長野県から小池玲子会長をお迎えし、ご講演いただいたあと、5、6人の小グループでの語り合いを経て、再び講師を交えて意見交換をするという内容で実施されました。</p> <p>7月の千葉県社会教育委員連絡協議会の代議員会に伴う研修会で講師を務められた小池さんのお話を、是非皆さんにも聴いてもらいたいという4市代表の意見と、昨年の全国大会で千葉方式として実施した語り合いによる分科会の経験から実現したものです。</p> <p>小池さんはPTA役員になったことをきっかけに、平成10年から地区児童育成団体の発足に関わり、その後よく職務がわからないまま諏訪市の社会教育委員となられたようですが、持</p>

ち前の好奇心と行動力で奮闘するうちにやがて議長になり、「スポーツを通して市民が健康で心豊かなくらしをするために、教育委員会としてどのようにすすめたらよいか」との諮問を受け、1年半にわたる検討の末、答申をまとめた経験や、さらにその3年後には社会教育施設や事業についての提言書をまとめる一方で、県や市の社会福祉協議会のボランティア・市民活動支援センターで小中学生を含む地域ぐるみでの防災活動を行うなど、圧倒されるような、すばらしい活動の数々をうかがうことができました。

研修の導入部で、講師への君津地方の紹介と講師紹介を兼ねた伊藤さんのデモンストレーションで和やかな雰囲気ことができました。この話は小池氏からも評価が良く、ぜひ長野でも話をして欲しいと聞いています。

小池氏のパワフルな活動のお話を受け、最後まで活発な意見交換や質疑応答がされ、さらに講師を囲んでの懇親会でも語り合いが盛り上がり、みのり多い研修会となりました。

以上で君津地方研修会の報告を終わります。

委員の皆様からご質問などございますか。

委員

特になし。

(議長)  
高橋委員長

ご質問などはないようですので、(6) その他ですが、図書室など整理・改善作業及び図書リサイクル会について事務局から報告願います。

(事務局)  
伊藤  
課長補佐

(社会教育委員による2年間の図書室改善の取組、職場体験生徒との協働による図書環境改善・図書室整理ボランティアの発足による自発的取り組みなどについて説明。図書環境改善に必要な除籍にかかる図書リサイクル会への経緯を報告。)

<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>事務局からの報告は終わりました。委員の皆様からご意見・ご質問などございますか。</p>
<p>大野委員</p>	<p>ボランティアの方々の大変な熱意により、中央公民館図書室だけでなく、館自体が大きく変わったなと感じています。3月25日日曜日に開催される公民館カフェのためかロビーに机などが配置されています。これは常設または仮設どちらの予定なのでしょう。例えば、ホールを使う事業がある場合、往来に支障を来す心配があります。また、カフェ（材料費を除いた売り上げをチャリティとする。）については資格を有する者が実施するのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 渡邊 公民館長</p>	<p>現在は、公民館カフェの準備でそのような配置となっておりますが、終了後は支障がないよう机の移動などの対処を行います。公民館カフェについては、営業の免許を有する方が行うので、衛生面などの問題はクリアしていると認識しています。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>ケースバイケースで対応していただけるのであれば、よいかなと思います。</p>
<p>杉田 副委員長</p>	<p>大野委員から意見が出たように、いろいろな方から意見を出していただくことが大切で、公民館としては多様な意見を集約することが求められると思います。子育て世代のボランティアの方々が良いと思った方向に進んでいます。さらに開催予定の図書リサイクル会で多くの方が訪れることによって、こんな風に公民館を使いたいという考えを多くの人が持てれば良いのかなと思います。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>他にご質問・ご意見はないようですので、議題に入る前に休憩を挟みます。</p>

	(休憩終了後再開)
(議長) 高橋委員長	では次に、議題に入ります。議題(1)富津市子どもの読書活動推進計画について、事務局から説明してください。
(事務局) 伊藤 課長補佐	(本計画を社会教育委員会議で審議してきた経緯、いただいた意見に関する計画案修正、策定に向けてのスケジュールについて説明)
(議長) 高橋委員長	ただいま事務局から、富津市子どもの読書活動推進計画の案につきまして、内容、スケジュールなどの説明がありました。先日の臨時会議での皆さんの意見が反映されたものとなっているようですが、委員の皆さんから、ご意見をいただきたいと思えます。
磯貝委員	計画案にある児童・生徒の読書時間は1日あたりのものですか。先日の臨時会での意見も反映されていて良いと思えます。現在の司書1名体制からの増員については、何度か意見を言っていますが、いかがなのでしょう。
(事務局) 伊藤 課長補佐	読書時間は1日あたりのものです。
(事務局) 岩名課長	図書環境改善のために、司書の増員については、人事部門に要望を出しています。
川名賢委員	計画案にあるブックスタートの際に、プレゼントする絵本の予算はどこから出ており、どのくらいプレゼントしているの

<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>しょうか。</p> <p>5つの絵本の中からご希望のものを1冊プレゼントしています。支出については、新生児の予想出生数に単価を乗じたものを生涯学習課のブックスタート事業費予算で計上しています。ブックスタートの際の読み聞かせ体験だけで終わるのではなく、継続的に親子のコミュニケーションのきっかけとなることをねらいとしています。</p>
<p>川名賢委員</p>	<p>私の勤務校でも図書のボランティアの方々がいらっしゃり、話をする中で、家庭での読書には温度差があるという話があります。読書に関心がある家庭もある一方で、子どもは動画サイトなどを閲覧する環境を与え、それに夢中な子どもという家庭もある。学校も努力していますが、家庭の温度差はなかなか変えられないので、市として小さいうちから子どもが本とふれあう機会を設けるのは重要だと思います。</p>
<p>石井委員</p>	<p>計画案にある学校図書館の貸出システムについてですが、数年前に学校図書がバーコード化されるという事業がありました。バーコード化されても、どのように運営・活用されるかについての部分は不十分でした。学校に図書用のパソコンがあったが、壊れてしまい直すことができず使えないものがあったので、見直しが必要ではないかと思います。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>学校図書館については、各学校が連携していない簡易的なシステムとなっています。パソコンについては、数年間のリースとなっているので、修繕については予算がなかったのではないかと思います。司書教諭も専任ではないので、日頃の業務に加え、図書の仕事をしているため、手が回らないというのが現状です。</p>

	<p>システムの使用状況については、小規模校はパソコンを起動する時間より手作業の方が早いということで、中規模校が中心に活用しています。また、どの子が何冊読んだかという統計を備えていないシステムのため、利用が滞っている一因となっています。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>計画案にある読み聞かせボランティアと公民館図書室ボランティアがありますが、どのように養成しているか、また何名ほどいるのですか。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>養成については、読み聞かせボランティアについて行っており、一昨年度は中央公民館、昨年度からは市民会館の講座で行っています。昨年の市民会館では十数名のボランティアがおり、講座から発展して自主活動でお話しライブという活動をしています。</p> <p>公民館図書室ボランティアについては、養成するというよりも自発的に発足しています。そこに読み聞かせボランティアの方も入っています。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>計画案に図書の選定及び除籍の基準とありますが、どのような決まりになっているのですか。</p>
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>一般的に図書館には、選定の基準とともに除籍の基準もございます。本市ですと、5年間貸出がない本を司書が判断するとしています。思い切って除籍をしていかないと使いやすい図書室になっていきません。一方で県内の図書館と相互貸出をするシステムもあり、時間はかかりますが、希望の本が借りられるようなリクエストもできます。</p>
<p>杉田</p>	<p>中学生の学校図書館の利用状況はどうなのでしょう。</p>

副委員長	
川名賢委員	<p>私は小学校勤務ですが、中学校でもネットと併用し、学習の一環として学校図書館を活用していると思います。図書委員や国語科教員が図書の紹介をするという取り組みが小・中学校変わらずあると思います。</p>
(事務局) 市川社会 教育指導員	<p>実質的にはあまり活用されていないというのが実情です。教員が啓発するよりも、使える本が学校図書館にあるかにかかっています。社会や理科などの本も古くなれば、情報も古く読もうという気にはなれません。使いたいと思う環境にするには学校司書がいて、様々な取り組みが必要となってきます。</p>
杉田 副委員長	<p>先ほど県内図書館からのリクエストの話がありましたが、もっと知ってもらう必要があると思います。また、中学校にも移動図書館の巡回や団体貸出の活用などを呼びかけることが必要かと思います</p>
(事務局) 伊藤 課長補佐	<p>リクエスト及び団体貸出については校長会等でお知らせしていますが、より広く具体的に周知するような目につくPRが必要だと認識しています。</p>
(議長) 高橋委員長	<p>他にご質問などがなければ、決をとりたいと思います。 それでは、計画案についてお諮りします。事務局から説明のありました、「富津市子どもの読書活動推進計画」の案につきまして、この内容で提案することとしてよろしいでしょうか。賛成の委員は挙手願います。</p>
委員	<p>挙手多数</p>



<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>賛成多数と認めます。それではこの計画案を教育委員会に提出していただき、パブリックコメントなどのしかるべき手順を踏んで、策定するという方向で事務局に委ねたいと思います。</p>
<p>次に、議題(2)富津市生涯学習推進計画について、事務局から説明してください。</p>	
<p>(事務局) 伊藤 課長補佐</p>	<p>(近年、人口の多い市以外は、生涯学習推進計画を市総合計画・市教育振興計画に包含する流れがあり、本市でも、生涯学習推進を個別で作らず、「富津市教育施策」(富津市版教育振興計画)に生涯学習に関する事項を厚くする案について説明)</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>ただいま事務局から、生涯学習推進計画を「富津市教育施策」の中に盛り込む形で発展的に統合するという案の説明がありました。このことについて、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。</p>
<p>第1次生涯学習推進計画の策定に携わられた石井委員はいかがでしょう。</p>	
<p>石井委員</p>	<p>近年の流れをみると、学校教育と社会教育はますます不可分になっていて、生涯学習は学校教育を包み込むようにあるものだと思いますので、事務局の方針とおりで良いと考えます。</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>それでは、お諮りします。富津市生涯学習推進計画を富津市教育施策の中に盛り込む形で発展的に統合することとしてよろしいでしょうか。賛成の委員は挙手をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>挙手多数</p>
<p>(議長) 高橋委員長</p>	<p>賛成多数と認めます。それでは、今後は富津市教育施策の中で生涯学習の推進を計画していくということで、事務局は進め</p>

委員	<p>方などの検討をお願いします。</p> <p>次に、その他ですが委員の皆様・事務局から何かありますか。</p> <p>特になし</p>
(議長) 高橋委員長	<p>特にないようですので、以上をもちまして、本日の議題はすべて終了いたしました。議長の任を解かせていただきます。委員の皆様のご協力に感謝いたします。それでは、事務局にお返しします。</p>
(事務局) 岩名課長	<p>長時間にわたるご審議、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、平成29年度第2回富津市社会教育委員会議を閉会といたします。お疲れ様でした。</p>